

白鳥はしらとり  
（若山牧水わかやまほくすい）

解説 牧水は恋人の園田小枝子と南房総の根本海岸に行きこの詩を作った。歌集「海の声」より。海に漂う白鳥を詠った詩。

白鳥はしらとり  
かなし  
からずや  
空そらの  
青あお

語釈 ※かなしからずや＝悲しくないのだろうか（いや、きっと悲しいだろう）

海うみの  
青あおにも  
染そまず  
ただよふ

通釈 白鳥は悲しくないのだろうか（きっと悲しいだろう）空の青色にも、海の青色にも染まることなく漂っている。